



玉鋼を取り出す佐藤重利さん



精製された玉鋼

八月二十五日、祈禱殿広場・火渡り御本尊前にて、「平成最後の下原刀を作る会（会長 磯沼孝）」主催により、たたら製鉄が行われました。下原刀とは、室町時代末期から幕末まで恩方地区などで作られていた日本刀であり、近年まで残っていました。しかし、刀匠の佐藤重利さんが二十年の歳月をかけて、三年前に下原刀の技法を現代に蘇らせました。そして磯沼会長や有志の方々が「郷土刀」である下原刀を、高尾山に奉納して古刀を復活させた現在の八王子の技術を後世に伝えようと考え、「平成最後の下原刀を作る会」が結成されました。

材料となる砂鉄は市内を流れる浅川で採集され、今回たたら製鉄が行われました。たたら製鉄とは土で炉を作り、その上で木炭を焼くことで砂鉄を熱して玉鋼を精製する作業です。今後は今回精製された玉鋼を素材として佐藤さんの手で鍛錬され下原刀となります。

### 平成の下原刀を高尾山に奉納する会 祈禱殿広場にて『たたら製鉄』を行う



大本堂内にて早朝の坐禅を行う参加者たち

去る八月一日（水）～二日（木）に、第四十六回高尾山峰中修行体験合宿が京王電鉄（株）主催にて行われ、五十名以上の子供たちが参加した。子供たちは高尾山頂で自然観察をして記念撮影を行い、室内でのゲームを楽しんだ。翌早朝には御護摩修行・坐禅・法話聴聞・写経、最後には琵琶滝にて滝行を行い、各修行を通じて心身共にたくましく鍛えられた。

### 京王電鉄（株）主催 高尾山峰中修行体験合宿

### 高尾山子供やまぶし 修行体験会



八月五日（日）、今年で十五回目を迎える、高尾山子供やまぶし修行体験会が、百名を超える子供が参加して行われた。

保護者達と別れ、山伏と共に山麓の不動院から琵琶滝水道場を目指して出発。水行では滝に打たれながら御本尊様とお約束として山伏から問いかけられた、「お友達と仲良く出来ますか?」「好き嫌いせずにご飯を食べられますか?」という質問に大声で「はい!」と答えていた。

水行の後には、琵琶滝から十二丁目茶屋前までの急峻な琵琶滝道を、一時間以上かけて登る徒歩修行を行った。道中では真夏の暑さに負けず元気に登り、時には出会った植物や昆虫を観察して自然と触れ合った。

薬王院に到着すると大本堂にお参りして昼食となった。昼食では精進カレーライスを食べ、大勢の子供達がカレーライスをお代わりしていた。

昼食後には腕輪念珠作りを行った。出来上がった腕輪念珠は大きさ、色使いが様々であり、自分だけのオリジナル腕輪念珠となった。その後山麓にて厳修された柴燈護摩供に参加した。その際に、代表者のご本尊 飯縄大権現様へ本日の修行の成果を今後の生活に生かすことを約束する「誓いの言葉」を奉告した。不動院での閉会式では、保護者達の見守る中、一日の修行を終えた証となる、「修了証」が授けられ、無事に帰宅の途に就いた。



オリジナル腕輪念珠を作る



御本尊様へ「誓いの言葉」を伝える



急な山道を山伏さんと一緒に登る